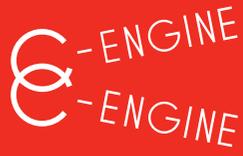


大学公認
事業

Collaborative
Education for
Next-
Generation
INnovators &
Exploration
of knowledge intersections

The logo for C-ENGINE consists of a stylized 'C' and 'E' intertwined, with the word 'ENGINE' written twice, once above and once below the 'E'.

理工系大学院生 およびポストドクのみなさんの 未来を応援します

研究インターンシップに参加しませんか

産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE) では、
理工系の大学院生 (修士・博士) およびポストドクのみなさんにむけて、
研究インターンシップの参加者を募集しています。

リーディング企業の研究開発の現場で経験するインターンシップは、
研究者としての幅を広げる機会となるだけでなく、
大学の研究室では得がたい「刺激的な経験」と
「気づき」があふれています。



産学協働イノベーション人材育成協議会は、中長期研究インターンシップの実施をとおして、
産学連携による「人の交流」での人材育成と、「知の交流」によるイノベーションの創出に貢献します。

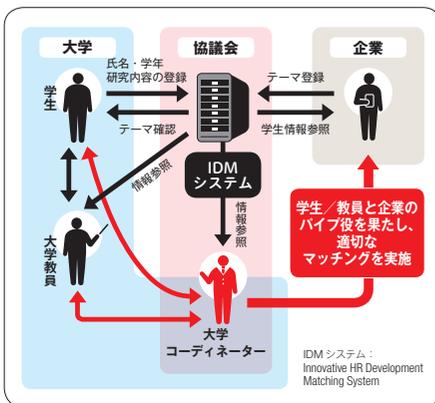
(C-ENGINE)

協議会の インターンシップには、 3つの特徴 があります。

●インターンシップ実施までの流れ



●オンライン／オフラインでのマッチング



2 中長期の 研究インターンシップ

短期では得られない知識と技術の取得が可能です。実際に企業の研究現場を体験することで、さまざまな経験や新たな気づきを得られます。

1 組織と組織の インターンシップ

大学や企業が組織として協議会に参画することで、質の高いインターンシップを提供しています。

3 オンラインとオフライン でのマッチング

インターンシップの内容や時期を調整し、学生・企業にとって有意義なインターンシップになるよう、個別のケースの条件や特性を考慮し、ていねいなマッチングに努めます。

成功の鍵は、強い意欲と周到的準備、そしてマッチング

インターンシップを経験して

産業界で活躍する 自分を思い描く

九州大学大学院数理学府
博士後期課程2年
田村朋之



インターンシップ先を決めるにあたっては、「どのテーマなら数学を活かせるか」を重視し、ローランド株式会社で3か月のインターンシップを体験しました。Rや統計、信号処理など、ふだんは扱わない知識を用いて、ある一定期間内で課題を解決することは予想以上に負担が大きかったですが、課題のもつ奥深さに日々感動しつつ、最終的には一つの成果を生み出すことができました。数学を産業に応用する可能性にふれた今回の経験は、純粋数学の知見と経験のみに基づいていた私の視野を大きく広げてくれました。

大学コーディネーターの視点

学生・産・学それぞれの 周到的準備が成功の鍵

東京工業大学
イノベーション人材養成機構 特任教授
協議会コーディネーター
古田健二



私はこれまでに約80件の博士・ポスドクの中長期研究インターンシップにコーディネーターとしてかかわっていますが、その多くのケースで、産学間でのWin-Winの関係が実現しています。企業の新技術開発の促進、特許出願への貢献のほか、企業の共同作業者とともに手がけた論文が学会において論文賞を受賞した事例もあります。成功の鍵を握るのは、学生本人の強い意欲と、受け入れ企業の理解、指導教員の理解、学生・産・学での適切な準備とテーマです。そのためには、事前の十分な意見交換・調整が大切です。

受け入れ企業のご意見

学生たちとの交流で 活気づく職場

三菱電機株式会社 開発本部 開発業務部
国際標準化・産学官連携推進グループ
グループマネージャー
大塚 功



研究インターンシップを受け入れる企業側には大きなメリットがあります。高い専門性を持った学生を受け入れることで、研究開発の加速や新規テーマの立ち上げ、イノベーションの創出に期待ができるほか、新しい価値観を持った学生との交流により職場全体が活性化します。この取り組みの成功には、マッチングがなにより重要であることは間違いありません。協議会の運営するマッチングシステム (IDMシステム) の活用、コーディネーターの方がたによる親身なご指導が、弊社での実りある研究インターンシップに結びついています。

研究インターンシップ「10の質問」

「インターンシップには興味はあるけれど、2か月も研究室を離れられない」「どんなプログラムに参加すればいいの?」「研究インターンシップって、本当に価値があるの?」説明会などでよく耳にする学生のみなさんの質問を集めました。「?」を「!」に変える情報が詰まっています。

Q1 一般的なインターンシップとの違いは?

A. 企業での研究の現場を一定期間体験することで、大学では得られないさまざまな「気づき」を得て研究者としてさらに成長できる素地を築いていただくことを目的に、良質のインターンシップの機会を提供します。大学の公認事業としてコーディネーターのサポートも得られます。

Q2 インターンシップに参加するさいに意識すべきことは?

A. インターンシップ体験後の成長が大事です。目的意識を明確にして目標設定し、しっかりと事前準備することが重要です。大学によってはコーディネーターによる事前教育の機会が設けられることがありますので、積極的に参加しましょう。

Q3 研究インターンシップに参加すると、就職には有利なのでしょうか?

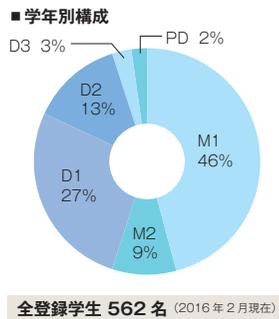
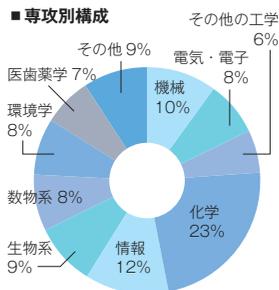
A. 直接的には関係はありませんが、インターンシップをととして企業の研究現場や風土を理解できます。企業は学生の能力や取り組み姿勢を確認できます。インターンシップ先への就職を希望する場合には、互いに理解しあえていることは有利になるといえるでしょう。

Q4 インターンシップに参加したいのですが、希望企業が遠方です。

A. 受け入れ企業ごとに対応は異なりますが、原則としてホテルや寮などをご提供をいただけます。コーディネーターに相談してください。

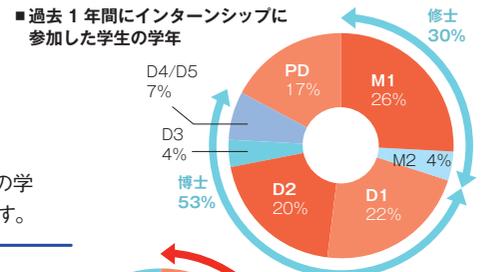
Q5 協議会に登録している学生の専攻や学年には、どんな傾向がありますか?

A. 偏りはなく、すべての専攻の学生のみなさんから支持されています。学年別では時間的な余裕を生み出しやすい修士1年生、博士1年生のみなさんが多く登録されています。



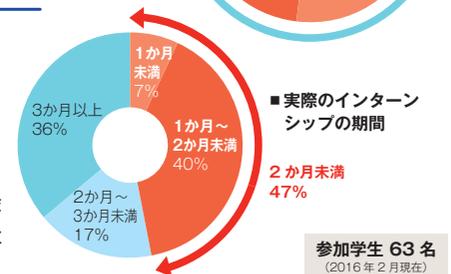
Q6 インターンシップに参加する学生は、どの学年が多いですか?

A. 修士1年、博士1・2年、ポスドクなどの学生のみなさんが比較的多く経験されています。



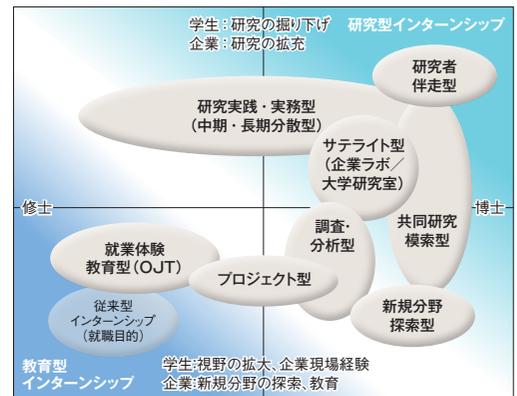
Q7 中長期とありますが、すべて2か月以上のプログラムでしょうか?

A. 2か月未満のプログラムも約半数を占めます。「時間的余裕がないので参加は無理」とあきらめず、プログラムを検討してみてください。



Q8 どんなプログラムに参加すればよいでしょうか?

A. まずは、インターンシップ参加の目的を明確にすることから始めましょう。〈専門分野を掘り下げたい〉〈自分の専攻が実社会でどれだけ役立つのかを確認したい〉〈研究者としての視野を拡げたい〉など、協議会では学生のみなさんのさまざまな要望を受けとめる多彩なプログラムを準備しています。



Q9 「大学コーディネーター」の役割はなんですか?

A. インターンシップ・テーマ設定や日程調整、事前の打合せやインターンシップ中の連絡、参加後のフォローなど、学生(教員)と企業とのパイプ役として、インターンシップが実りのあるものになるよう細やかにサポートします。

Q10 どうすれば、インターンシップに参加できるのですか?

A. 協議会のホームページ (<http://www.c-engine.org>) から、IDMシステムに学生情報を登録してください。インターンシップ・テーマの中に気になる内容があれば、指導教員や大学コーディネーターに相談してください。

協議会会員

[企業] (五十音順) ※印は入会予定企業



花王株式会社



京セラ株式会社



サントリーホールディングス株式会社



JNC 株式会社



シスメックス株式会社



株式会社島津製作所



清水建設株式会社



住友化学株式会社



住友電気工業株式会社



住友電装株式会社



住友理工株式会社



住友林業株式会社



ダイキン工業株式会社



大日本印刷株式会社



株式会社竹中工務店



DMG 森精機株式会社



帝人株式会社



東レ株式会社



株式会社巴川製紙所



日本ゼオン株式会社



株式会社日本総合研究所



日本電信電話株式会社



パナソニック株式会社



日立化成株式会社



株式会社堀場製作所



マツダ株式会社



三菱重工工業株式会社



三菱電機株式会社



株式会社村田製作所



株式会社安川電機



横浜ゴム株式会社



株式会社リコー



ロート製薬株式会社



ローランド株式会社

● 協議会趣旨にご賛同いただける企業のご参画をお待ちしております。

[大学] 問い合わせ先



東北大学

東北大学 高度教養教育・学生支援機構
キャリア支援センター
高度イノベーション博士人財育成ユニット
Tel: 022-795-3231
E-mail: high-ca@grp.tohoku.ac.jp



筑波大学

筑波大学 ダイバーシティアクセシビリティ
キャリアセンター / 学生部就職課
〒305-8577
茨城県つくば市天王台1-1-1
Tel: 029-853-2334
E-mail: syushokuka@un.tsukuba.ac.jp



東京大学

東京大学 大学院工学系研究科
機械工学専攻 GMSIプログラム事務局
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
工学部2号館2階203号室
Tel: 03-5841-0696 (内線20696)
E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp
http://gmsi.t.u-tokyo.ac.jp/



東京工業大学

東京工業大学
イノベーション人材養成機構 事務局
〒152-8550
東京都目黒区大岡山2-12-1-S6-1
メールボックス番号:S6-1
E-mail: iidpinfo@jim.titech.ac.jp



早稲田大学

早稲田大学 博士キャリアセンター
〒169-8555
東京都新宿区大久保3-4-1
51号館 9階09-05室
Tel: 03-5286-8041
E-mail: info@waseda-pracdoc.jp



東京理科大学

東京理科大学
学生支援部就職課(神楽坂)
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
9号館1階 キャリアセンター
Tel: 03-5228-8125



京都大学

京都大学 大学院工学研究科
グローバルリーダーシップ大学院工学
教育推進センター(GL教育センター)
キャリアアドバイザー 倉橋耕一郎
〒615-8530 京都市西京区京都大学桂
Tel: 075-383-2049
E-mail: kurahashi.kouichirou.4r@kyoto-u.ac.jp



大阪大学

大阪大学 産学連携本部 イノベーション部 CLIC
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-8
テクノライアンス棟B206
Tel: 06-6879-4136
E-mail: consortium@uic.osaka-u.ac.jp
http://www.uic.osaka-u.ac.jp/led/



神戸大学

神戸大学 キャリアセンター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学キャリアセンター
Tel: 078-803-5217
E-mail: stdnt-shushoku@office.kobe-u.ac.jp
http://www.career.kobe-u.ac.jp/



奈良女子大学

奈良女子大学 男女共同参画推進機構
キャリア開発支援本部
〒630-8506
奈良市北魚屋西町 H棟5階 H501
Tel: 0742-20-3572
E-mail: career-k@cc.nara-wu.ac.jp
http://cdpd.nara-wu.ac.jp/



九州大学

九州大学 学務部学生支援課
(学術研究・産学官連携本部内)
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目8-34
産学官連携イノベーションプラザ2F
Tel: 092-832-2125
E-mail: internship@airimaq.kyushu-u.ac.jp



鹿児島大学

鹿児島大学 大学院理工学研究科
コーディネーター 特任専門員 佐藤哲朗
機械工学科2号棟 3010号室
Tel: 099-285-7689
E-mail: satoute@eng.kagoshima-u.ac.jp
鹿児島大学理工学研究科等研究科・
工学系学務課大学院係
〒890-0065 鹿児島市都元1丁目21番40号
Tel: 099-285-3058
E-mail: daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp



一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会

〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4 日本イタリア会館305
Tel: 075-746-6872 E-mail: contact@c-engine.org http://www.c-engine.org

